

2 便器内に水が流れる(約30秒)

- 便器ボウル内のお掃除をしてください。



3 便器内の水がすべて排出する(約30秒)

- 便器の奥のお掃除をしてください。



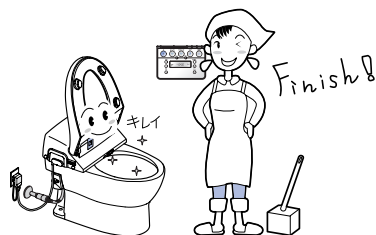
4 便器内に水が溜まる

- 便器のお掃除完了です。



途中で便器そうじをやめたいときは…

- もう一度 **便器そうじ** (おしり入切) を押してください。
便器の水を排出して止まります。



ご注意ください!

便器内を洗剤でお手入れするときは、**便器そうじ** (おしり入切) で水を流す前に行ってください。

- 便器内の清掃にトイレ用洗剤などを使用するときは、早目(3分以内)に洗い流した後、便座・便ふたは開けたままにしておいてください。
また、便器についた洗剤は確実にふき取ってください。
(便器用洗剤などの気化ガスがウォシュレット本体内に入り、故障の原因になります。)

ヒータ付便器のときは…

- 便器にはヒータを組み込んでいますので便器や床に水をかけないでください。
また、小便などが便器から飛び散ったときは、すぐにふき取ってください。

アドバイス 1

アドバイス 1 便器内面の掃除

便器内面は洗浄水で洗われますが、水あかや便の状態によっては付着し、落ちにくいことがあります。そのままにしておかず、すぐに洗い落とすようにしてください。

凍結による破損の予防及び長期間使わないときの処置

凍結が予想されるとき アドバイス 2

周囲の温度が氷点下にならないように、トイレ内をあたためるか、できないときは水抜きを行ってください。凍結のおそれがある場合は、次の手順に従って予防してください。

製品が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因になります。

※便器の種類によって、凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

便器の種類は57ページ

ご注意ください!

凍結予防の作業前には、**おしり入切**、**おしり入切**、**おしり入切**を「切」にして、便座・便ふたを閉めた状態にしてください。

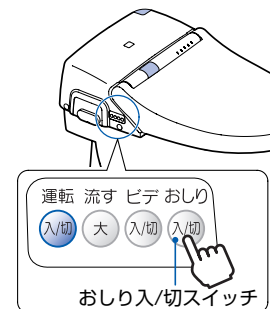
凍結予防のしかた (流動方式)

- 便器とウォシュレットの水を一定の間隔で自動で流して凍結を予防する方法です。

本体操作部の **おしり入切** を 10秒以上押す

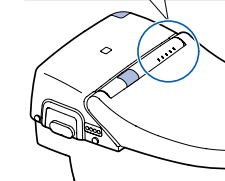
凍結の予防を開始します。

- 本体表示部の「運転」ランプが点灯から点滅に変わります。
- ノズルが収納したままで温水が5分間隔で出ます。
- 便器の水が10分間隔で流れます。



凍結予防を確実にするには…

- リモコンの温水・便座温度の設定を40℃に設定してください。
- 便ふたを必ず閉めてください。

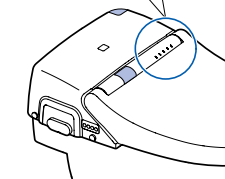


凍結予防をやめるとき

本体操作部の **おしり入切** を 10秒以上押す

凍結の予防をやめます。

- 本体表示部の「運転」ランプが点滅から点灯に戻ります。



アドバイス 2 凍結が予想されるとき

節電はしないでください。凍結により製品が破損することがあります。

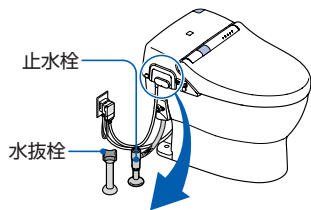
タイマー節電をやめるときは34ページ おまかせ節電をやめるときは35ページ

凍結予防のしかた（ヒータ付便器・水抜併用方式）

水抜きのみ

1 水抜栓を操作して、給水を止める

※止水栓は開けたままにしておいてください。



2 配管の水を抜く

- ①キャップをはずす
- ②給水フィルター付水抜栓を開閉工具でゆるめた後、引っ張ってはずす

注意

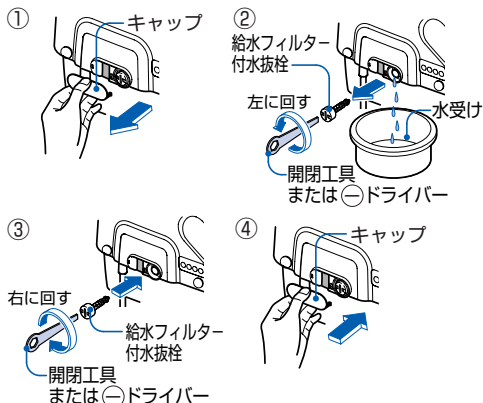
- ❌ 水抜栓を開けたままで、給水フィルター付水抜栓をはずさない
- 水が噴き出します。

- ③水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜栓を押し込み、開閉工具で確実に締める

注意

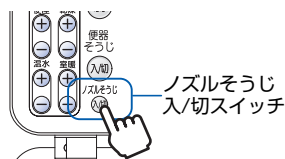
- ❗ 給水フィルター付水抜栓は確実に締める
- 確実に締めないと水漏れの原因になります。

- ④キャップを取り付ける



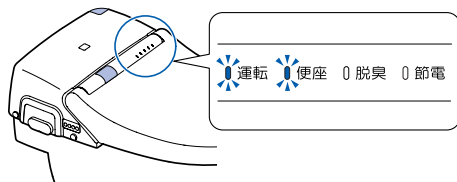
3 ノズル内の水を抜く

- ①リモコンの **ノズルそうじ** を押す
- ②水抜きが終わったら、もう一度 **ノズルそうじ** を押す（ノズルを元に戻します。）



4 ウォシュレット内を保温する

- ①本体操作部の **運転** が「入」であることを確認し、リモコンの便座温度の設定を40℃にする
- ②便ふたを閉める

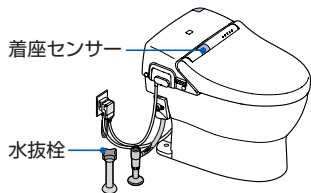


水抜き後に再通水するとき

1 水抜栓を操作して、給水する

2 ノズルから吐水させる

- 着座センサーを白紙でおおい、リモコンの **おしり** を押してノズルから吐水させます。（吐水は紙コップなどで受けてください。） **アドバイス 1**



アドバイス 1 残水が凍結し水が出ないときは、トイレ内をあたため、お湯に浸した布で給水ホース及び止水栓をあたためてください。

長期間使わないときの処置

凍結のおそれがない場合

長期間使わないとき

電源プラグを抜く

長期間使わなかった後に、再通水するとき

1 電源プラグをコンセントに差し込む

2 ノズルから吐水させる

- 着座センサーを白紙でおおい、リモコンの **おしり** を押して、ノズルから2分間吐水させます。（吐水は紙コップなどで受けてください。）

凍結のおそれがある場合

- 長期間使わないときに凍結のおそれがある場合は、次の処置を行ってください。 **アドバイス 2**

流動方式の場合

- 電源プラグを抜かずに **45ページ** 「凍結予防のしかた（流動方式）」の操作を行う

ヒータ付便器・水抜併用方式の場合

- 次の手順で水抜きを行ってから、電源プラグを抜いてください。

1 水抜栓を操作して給水を止める

- ※止水栓は開けたままにしておいてください。 **46ページ**

2 配管の水を抜く

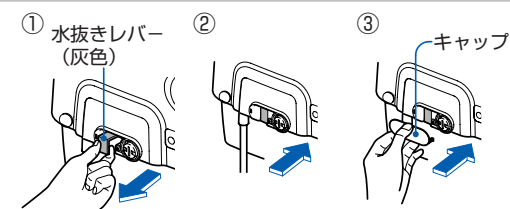
- **46ページ** ※水を抜いた後、キャップははずした状態にしておいてください。

3 ノズル内の水を抜く

46ページ

4 ウォシュレット内の水を抜く

- ①水抜きレバー（灰色）を引く
 - 本体下側から水（40ml程度）が便器内に出ます。水が完全に抜けるまで、約10秒かかります。
- ②手を離し、水抜きレバーを元に戻す
- ③キャップを取り付ける



5 電源プラグを抜く

6 便器の溜水を処置する

アドバイス 3

- アドバイス 2**
 - 冬季に帰省されるとき
 - 別荘などで使用されるとき
 水抜きをしましょう！冬季の留守のときは冷え込みが厳しくなります。凍結予防のために、必ず水抜きをしてください。

アドバイス 3 便器に残る溜水には、不凍液を入れておくとより安心できます。

こんなときは